

(別添 4)

【神川町】

1 人 1 台端末の利活用に係る計画

1. 1 人 1 台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

神川町では、1 人 1 台端末及び高速大容量の通信ネットワークを活用し、児童生徒の主体的な学びを促進し、個別最適な学習環境の構築を目指している。学習指導要領や「令和の日本型学校教育」の方針を踏まえ、次のような学びの実現を目指す。

①児童生徒が自ら調べ、考え、表現する力の育成

- ・インターネットを活用し、調べ学習を通じた探究的な学びを促進する。
- ・学習成果をデジタルポートフォリオに記録し、振り返りを可能にする。
- ・プレゼンテーションソフト等を活用し、自分の考えを発表・表現する機会を増やす。

②児童生徒同士、教職員との双方向的な学びの実現

- ・クラウドツールを活用し、共同編集や意見交換を行う。
- ・教師とのオンライン対話を通じて学習のフィードバックを受ける。
- ・遠隔授業やオンライン課題提出を活用し、学習の機会を拡充する。

③個別最適な学習環境の提供

- ・学習支援アプリを活用し、児童生徒の理解度に応じた課題に取り組む。
- ・AI を活用した適応学習システムにより、個々の進度に応じた指導を実施する。
- ・特別支援が必要な児童生徒への学習補助ツールを活用する。

2. GIGA 第 1 期の総括

令和 6 年度までに GIGA スクール構想を推進し、1 人 1 台端末と通信環境の整備を行ってきた。その結果、ICT を活用した学びの実践が進展し、以下の成果が見られた。

①GIGA スクール構想の成果

- ・学習の個別最適化が進み、児童生徒の学習意欲が向上した。
- ・教職員の ICT 活用指導力が向上し、指導の幅が広がった。
- ・遠隔学習やオンライン教育相談が導入され、学びの機会が拡充された。

②課題と解決策

- ・活用の定着には学校間で差があり、さらなる教員研修が必要。
- ・端末の適切な活用方法を共有し、学習成果を高める支援が求められる。
- ・家庭の通信環境による格差を解消するための支援策が必要。

3. 1人1台端末の利活用方策

今後のICT活用をさらに推進するため、以下の具体的な方策を講じる。

①探究的な学びを支える端末活用の促進

- ・プログラミング教育やデータ活用を取り入れ、論理的思考力を育成する。
- ・オンライン資料やデジタル教材を活用し、学びを深める環境を提供する。

②オンライン教材・アプリの活用による個別最適な学び

- ・AIドリルや学習管理システムを活用し、児童生徒の進度に応じた学習を提供する。
- ・デジタルポートフォリオを活用し、学習成果の振り返りを行う。

③児童生徒間および教職員とのオンライン連携の強化

- ・オンライン会議システムを活用し、双方向型の学習機会を提供する。
- ・クラウド上で学習データを管理し、リアルタイムでフィードバックを行う。

④不登校・外国人児童生徒・特別な支援を要する児童生徒への支援

- ・不登校児童生徒に対し、希望に応じたオンライン学習支援を提供する。
- ・外国人児童生徒向けに翻訳機能を活用し、多言語対応の学習環境を整備する。
- ・障害のある児童生徒向けに、支援技術（音声入力、画面読み上げ等）を活用する。

今後も端末の活用を促進し、児童生徒一人ひとりの学びを支援する環境を整備していく。